

MedTech Innovator Discovery Program



アカデミア発メドテックイノベーター 発掘プログラム 2025 参加者募集



Networking
Day

2025.12.13 SAT

ピッチ形式で開催します。ご提出いただいた事業ピッチ用PPTと当日のピッチをもとに書類審査を行い、6チームを選抜します。結果は当日会場内にて発表します。

本コンテストは、LINK-Jの「オープンイノベーションの促進」と「エコシステムの構築」を目的とする活動の一環として、メドテック（医療機器、デジタルヘルス、ヘルスケアサービス等）領域での事業化を検討している、もしくは事業化直後の研究者の支援の場として開催いたします。プログラムを通じて、会員アカデミアの皆さまとアクセラレーター、ベンチャーキャピタル、事業会社との出会いを促進します。

LINK-Jの
アカデミア
ネットワーク



LINK-JのVC・
アクセラレーター
ネットワーク

ピッチ審査基準

[事業戦略] 市場性、技術や解決策の新規性、サイエンス／テクノロジー、インパクト
[人物評価] ピッチスキル、リーダーシップ、パッションおよびLINK-Jが応援する意義

選出6社特典（予定）

1

ベンチャーキャピタリスト・アクセラレーター等からのメンタリング機会の提供

選抜された6チームにはメンタリングの機会が提供されます。幅広いメンター陣の中から適切なメンターがチーム毎の課題に応じたアドバイスを行います。参加チームとメンター双方から希望を取り、主催者が適切なマッチングを調整します

[メンター] ベンチャーキャピタリスト、スタートアップ社員、アカデミア関係者、薬事関係者 等

Beyond Next Ventures株式会社
MedVenture Partners株式会社
株式会社インディー・ジャパン
株式会社サナメディ
株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ

東北大学ナレッジキャスト株式会社
国立がん研究センター東病院
東北大学
N.B.Medical株式会社 他

2

LINK-J特別会員
年会費2025年度+2026年度分免除
および入会金免除

3

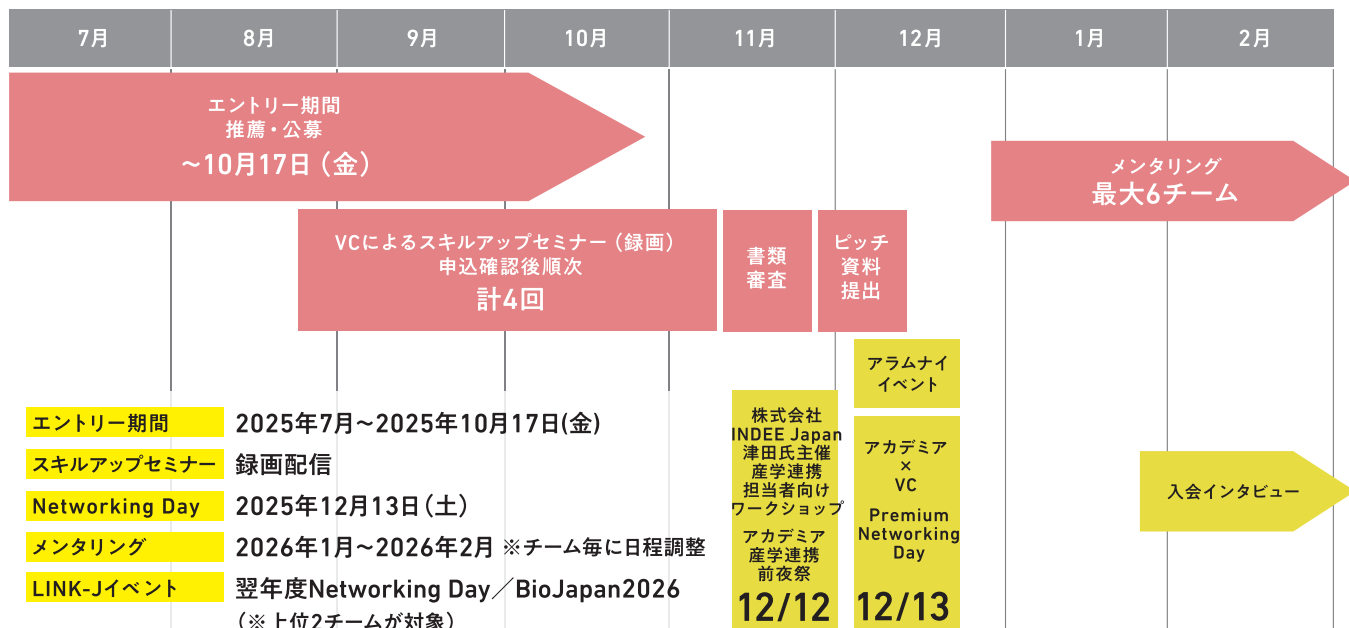
翌年度Networking Dayなどに
アンバサダーとして登壇、
HPへのインタビュー掲載

メドテックイノベーター発掘プログラム2025 エントリーはこちらから

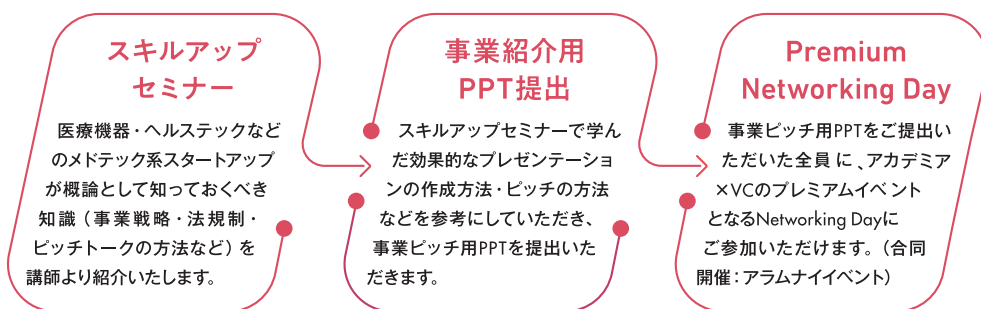


MedTech Innovator Discovery Program

アカデミア発メドテックイノベーター
発掘プログラム 2025 参加者募集



コンテストの流れ



Premium Networking Day Program

12:00-13:00 Networking Lunch (アラムナイイベント)
 13:00-13:10 開会挨拶
 13:10-13:25 ゲストによる講演
 13:30-15:00 ライトニングピッチ (5分×15～30チーム) +ポスター展示
 15:00-15:30 審査時間
 15:30-16:00 VC座談会
 16:00-16:10 LINK-Jイベント進出チーム発表・講評、今後の案内
 16:10-17:10 ネットワーキング

[審査員]

審査員長: LINK-J常務理事	曾山 明彦
株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ (UTE) 取締役・パートナー	宇佐美 篤 氏
株式会社サナメディ代表取締役 CEO	内田 毅彦 氏
MedVenture Partners株式会社 代表取締役社長	大下 創 氏
Beyond Next Ventures株式会社 ディレクター	澤邊 岳彦 氏
株式会社INDEE Japan 代表取締役 テクニカルディレクター	津田 真吾 氏
東北大学ナレッジキャスト株式会社	鈴木 友人 氏

応募対象・条件

- ▶LINK-J特別会員のアカデミアが推薦すること
- ▶1アカデミアあたり2チーム推薦可
- ▶医療機器、デジタルヘルス、医療サービス、その他ライフサイエンス領域におけるテクノロジーに関するアイデア・技術・製品・事業(アイデアの状態でも応募可能)を有し、その技術・製品・事業に関するプレゼンが可能であること(法人、チーム、個人は問わない)
- ▶プレシード、シードステージ 起業してから3年以内、もしくは資金調達額5千万円(助成金、Grantは含まない)まで
※今後活躍される起業家の発掘を想定した企画となっています
- ▶複数名で応募する場合はチームリーダーを指名すること
- ▶チームリーダーは事業のあらゆる側面を把握する者がなり、スキルアップセミナー、ピッチ審査、ポスター発表、メンタリング、Demo Dayのすべてに参加する
- ▶発表、資料は日本語または、英語でも可能。但し、メンタリングは日本語で進行するため、日本語での意思疎通・会話が可能なメンバーを必ず入れること
- ▶本コンテストのすべてのプログラム内で開示される情報は非機密情報として扱われることを事前に了承すること